

湖南高校だより

一人ひとりの成長のために

本校では今年度より各教科理解の基礎となるリディング・スキル（読解力）の育成に努めています。具体的には、朝の学習において『論理言語力検定』対策のワークブックを用いた情報理解力等を高め、また、読解の前提となる語句の読みと用例については『漢字検定』対策のテキスト演習として朝の読書も復活させました。十一月に行われた検定試験では、一

学習面でのサポート
本校には小規模校ゆえの強みがあります。それは、少人数による習熟度の授業展開と、全教員が全生徒を熟知していることによる、個々の生徒に寄り添った手厚い学習指導です。また、基礎学力が定着していない生徒向けに、学習支援員による放課後の「フォローアップ学習会」、長期休業中には教科担当者による「学力アップ学習会」を実施しています。一方、

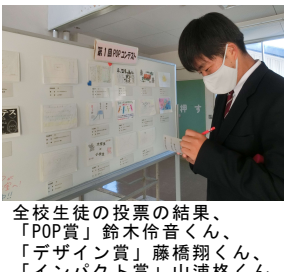


合書館 教員による「学力アップ学習会」の様子。生徒は積極的に質問を投げかけています。

教える側の私たちも、年四回、授業を公開し、アクティブ・ラーニングなど、楽しく分かりやすい授業のスキル向上に努めています。

二年生の約三分の二が、いずれかの級に合格しました。朝の学習に対する学校評価でも、生徒・職員ともに肯定的評価が九割弱となっています。

こうした読解力育成の動きを後押ししているのが、今年度より本格配置となった学校図書館司書の渡部加奈子の存在です。



結果、読解力向上に貢献。生徒は積極的に読書に取り組んでいます。

進路面でのサポート
本校では、進路選択において「体験的な活動」を重視し、進路指導を行っています。コロナ禍の今年度も、感染防止に配慮しつつ、全行事を全うしています。職業意識を育むインターンシップや企業説明会の他、進学希

望者向けの進路フェスタへの参加や講師を招聘しての分野別説明会の開催。また、進路活動や職業体験の発表会など、生徒同士のピア・ラーニングも大切にしています。今年度も進路決定100%までと少しになりました。ですが、進路のみならず、あらゆる活動において自己有用感を高められるよう、そのサポートに尽くしていきたいと思っています。

課外活動でも自己表現
ソフトテニス部
十月三十日から二日間、いわき市で行われた新人戦県大会に、男子ソフトテニス部が参加しました。団体戦では、一回戦、光南高校に2対1で勝利し、二回戦では第三シードの福島西高校に1対2で惜しくも敗れました。ただ、個人戦で、高橋（高瀬中出身）・大山（湖南中出身）ペアが、本校

ソフトテニス部
ソフトテニス部は、新人戦県大会に男子ソフトテニス部が参加しました。団体戦では、一回戦、光南高校に2対1で勝利し、二回戦では第三シードの福島西高校に1対2で惜しくも敗れました。

進路面でのサポート
本校では、進路選択において「体験的な活動」を重視し、進路指導を行っています。コロナ禍の今年度も、感染防止に配慮しつつ、全行事を全うしています。

勉学 勤労 誠実 協働
行立 学術 島等 行立 学術 島等 行立 学術 島等 行立 学術 島等

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
第四回学校運営協議会
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。また、酒井校長より「令和三年度のコミュニティ・スクールの育成活動を重視し、本校でレシピを開発したそば製品や地元野菜の販売促進の企画、さ

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

蕎麦プロジェクト
十二月四日、「収穫祭」を行いました。当日は、地域の方からご指導を受けながら、製粉やそば打ちを行い、自分たちで打ったそばの食感を味わいました。生徒たちの感想には、「蕎麦屋で出てくるそばの幅が細く均等であることがとても凄いです」と感じました。「今回のそばがこんなに美味しかったのには地域の皆様が協力

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

中高連絡協議会
十二月十八日、両校の連携を深めるために、毎年一度持ち回りで開催している協議会を、今年度は湖南小中学校で開きました。本校からも十名の職員が参加し、それぞれの学校の取り組みや地元出身の生徒についての情報

中高連絡協議会
十二月十八日、両校の連携を深めるために、毎年一度持ち回りで開催している協議会を、今年度は湖南小中学校で開きました。本校からも十名の職員が参加し、それぞれの学校の取り組みや地元出身の生徒についての情報

蕎麦プロジェクト
十二月四日、「収穫祭」を行いました。当日は、地域の方からご指導を受けながら、製粉やそば打ちを行い、自分たちで打ったそばの食感を味わいました。生徒たちの感想には、「蕎麦屋で出てくるそばの幅が細く均等であることがとても凄いです」と感じました。

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

地域ミライ探究
十二月十日は、今年度の総合的な探究の時間の集大成の日となりました。「イチからカレーを作る」の名前通り、機械に頼らず自分たちの力と地域の方々の協力により、食を大切にしようと思っ「など」とこれまでの半年間の作業を振り返っていました。

地域ミライ探究
十二月十日は、今年度の総合的な探究の時間の集大成の日となりました。「イチからカレーを作る」の名前通り、機械に頼らず自分たちの力と地域の方々の協力により、食を大切にしようと思っ「など」とこれまでの半年間の作業を振り返っていました。

蕎麦プロジェクト
十二月四日、「収穫祭」を行いました。当日は、地域の方からご指導を受けながら、製粉やそば打ちを行い、自分たちで打ったそばの食感を味わいました。生徒たちの感想には、「蕎麦屋で出てくるそばの幅が細く均等であることがとても凄いです」と感じました。

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

編集後記
行政の方から依頼を受け取り組んでいる「地域づくりマップ」は、生徒たちにとって湖南の地域資源を考える絶好の機会になっています。有志生徒だけでなく、湖南高校は学校全体として、地域のためにどんな貢献ができるのかを模索しています。「こんなことに高校生の手を貸してほしい」といったことがありました。お声掛け下さい。また、私たちも地域の皆様に支えられながら、学校を運営していきます。（猪苗代子）

編集後記
行政の方から依頼を受け取り組んでいる「地域づくりマップ」は、生徒たちにとって湖南の地域資源を考える絶好の機会になっています。有志生徒だけでなく、湖南高校は学校全体として、地域のためにどんな貢献ができるのかを模索しています。

蕎麦プロジェクト
十二月四日、「収穫祭」を行いました。当日は、地域の方からご指導を受けながら、製粉やそば打ちを行い、自分たちで打ったそばの食感を味わいました。生徒たちの感想には、「蕎麦屋で出てくるそばの幅が細く均等であることがとても凄いです」と感じました。

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

KONAN
湖南高校まるわりの近道、学校HPも常に更新しています（閲覧頻度現在1日約3000件）
下記のQRコードからご覧下さい。

編集後記
行政の方から依頼を受け取り組んでいる「地域づくりマップ」は、生徒たちにとって湖南の地域資源を考える絶好の機会になっています。有志生徒だけでなく、湖南高校は学校全体として、地域のためにどんな貢献ができるのかを模索しています。

蕎麦プロジェクト
十二月四日、「収穫祭」を行いました。当日は、地域の方からご指導を受けながら、製粉やそば打ちを行い、自分たちで打ったそばの食感を味わいました。生徒たちの感想には、「蕎麦屋で出てくるそばの幅が細く均等であることがとても凄いです」と感じました。

地域に根ざしたコミュニティ・スクール
十二月二十一日、第四回学校運営協議会を開催しました。先進校視察研修報告では、「地域に貢献し、自然との共生を図ることのできる人づくり」を教育目標として掲げている群馬県尾瀬高校の取り組みについての紹介があり、同校の自然環境科で導入している民家・民宿でのホームステイ制度について、本校でもワーキンググループを設置し検討を進めていくことが決まりました。

交換を行いました。
講演、進路活動、交流など、具体的な話し合いを行いました。